

ネットの危険から子どもを守るために ～大人ができること～

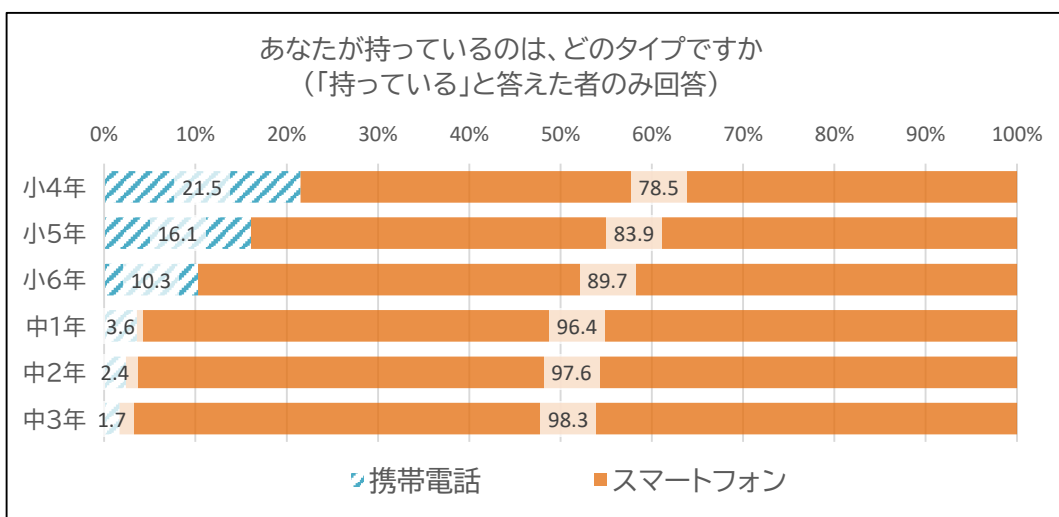
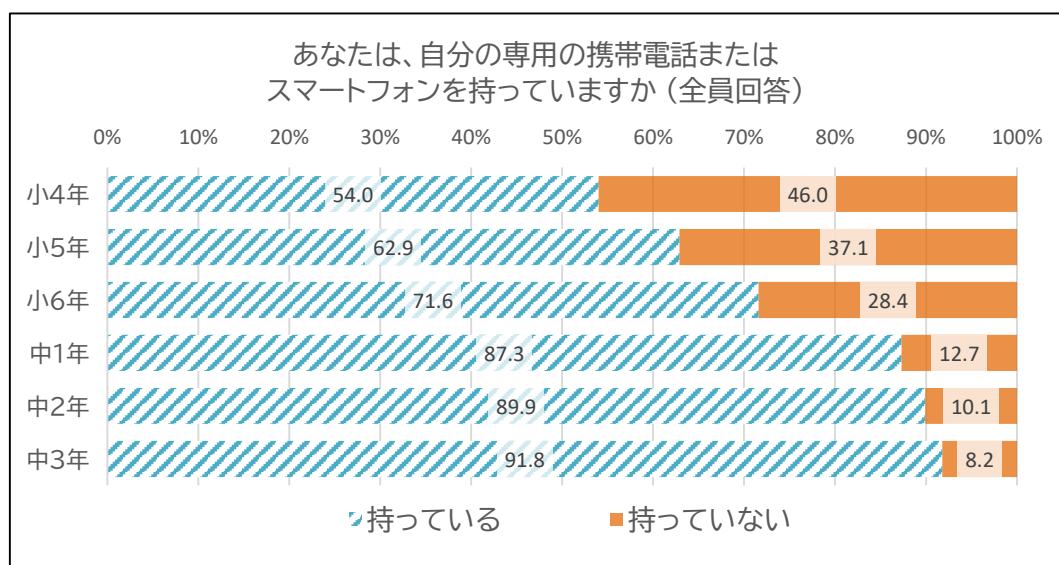
スマートフォン（以下スマホ）を始めとする電子機器の普及が急速に進み、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しました。スマホ等は使い方次第でプラスにもマイナスにもなります。インターネットを通して好きな時に好きなだけ、必要な情報を得ることができたり、ゲームや動画、写真等を友達と共有することもできます。また、道案内や電車の乗り換え案内、店の予約やショッピング等も簡単にでき、病院等の待ち時間を楽しく過ごすこともできます。もはや、スマホが無くては、落ち着かないという時代になりました。

しかし、小さいときからスマホに触れる生活に慣れていると、会話が減り、長時間使用することで生活習慣の乱れや体力の低下につながることがあります。SNSやゲームの中でトラブルに巻き込まれることやいじめに発展してしまうこともあります。安易な気持ちで悪ふざけ画像を送ってしまったり、思わぬサイトにアクセスしてしまい高額な料金を請求されたり、ネット上で知り合った人と安易に会って、取り返しのつかない事件になってしまったりするケースは、時々ニュースで目にします。

<愛媛県内の子どもの現状>

愛媛県内の小学4年生から中学3年生を対象に行った「令和7年度インターネット等に関する調査」結果は次のグラフのとおりです。

（調査人数：小学4年 9,220人 / 5年 9,456人 / 6年 9,678人 / 中学1年 8,903人 / 2年 9,028人 / 3年 8,776人）



質問 あなたは、次のような経験がありますか。（全員回答）※複数回答可

回 答	小学校（％）			中学校（％）		
	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
1.ネット上で悪口を書かれた	3.0	3.6	3.6	3.4	3.6	3.4
2.自分の個人情報や写真などをネット上に書かれた	1.0	1.0	1.0	0.9	1.2	1.2
3.心当たりのない利用金額の請求を受けた	0.4	0.3	0.6	0.6	1.2	1.6
4.知らない人から何度もメールや電話があった	7.2	9.5	10.3	12.4	12.2	12.1
5.しつこくメールが送られたり、つきまとわれたりした	1.2	1.7	1.7	1.9	1.8	1.6
6.インターネットで知り合った人と実際に会った	0.8	0.8	1.0	1.2	1.5	1.8
7.ラインで仲間外れにされた	1.1	1.5	1.4	1.9	1.4	1.2
8.その他	1.4	1.4	1.1	0.9	0.5	0.4
9.そのような経験はない	80.1	79.9	79.9	76.1	76.6	75.9
8.「その他」の記述 ・写真を送れと言われた。・スタンプを連打された。・ゲームで悪口を言われたり仲間外れにされたりした。LINE を乗っ取られた。・個人情報（名前や年齢、出身地など）を聞かれた等						

自分専用の携帯電話、またはスマートフォンを所有する割合は、小学生（4～6年生）で約6～7割、中学生になると約9割の子どもが所有するようになっている現状です。

スマホ等を利用しているうちに、なんらかの被害に遭ったことがある小・中学生が発生していることから、大人が子どもの言動に注意し、困った時に必要なサポートができる関係を築いていくことが子どもを健全に育てていくために大切ではないでしょうか。



ネットトラブルや犯罪被害から子どもたちを守るために、大人ができることは

○子どもの様子に気を配り、困ったことや悩みを打ち明けられる環境を地域や学校、家庭でつくる。

・家庭ではリビングを居心地の良い場所にすることも大切ですね。

○子どもたちに、信頼できる人とのつながりの大切さを教える。

・子どもたちと話す機会を増やしましょう。

○年齢や発達に応じて、スマホ等の使い方のルールを家族で話し合う。

・この時に大切なことは、子どもが納得できるルールを一緒に決めること。
 ・守れなかったときの対応を一緒に考えておくのもいいですね。



○フィルタリングを上手に活用する。

・有害情報やうっかりアクセスによるトラブルから子どもを守るため、携帯電話会社との契約時や機種変更等する場合に説明を受けたり、設定しましょう。

困った時に相談できる窓口

・四国中央警察署 0896 - 24 - 0110
 ・警察相談専用電話 #9110
 ・24時間子供SOSダイヤル 0120 - 0 - 78310